

幸区区民会議だより

3号

発行 幸区役所総務企画課
企画調整担当

〒212 8570

幸区戸手本町1 11 1

電話 (556)6612

FAX (555)3130

メールアドレス

63soumu@city.kawasaki.jp

平成18年10月25日(水)、午後6時30分から第2回幸区区民会議が幸区役所第1会議室で開催され、8名の傍聴がありました。

会議では、幸区区民会議の運営のあり方を話し合う企画運営部会(区民会議正・副委員長、各専門部会の正・副会長で構成)からの報告が行われ、幸区区民会議の運営要領を定めました。

また、各専門部会の部会長がこれまで2回行った部会の検討結果などについて報告しました。(2, 3ページに掲載)

そのほか区民会議についてのアンケートを行うことやその内容について協議しました。報告事項として平成17年度協働推進事業(魅力ある区づくり推進事業)の実施結果が報告されました(実施結果は区ホームページでご覧いただけます)。

第3回区民会議は平成18年1月下旬に行われる予定です。

委員名簿

区民会議委員長 区民会議副委員長

専門部会部会長 専門部会副部会長

専門部会A：安全・安心すこやか部会

委員名	推薦団体もしくは公募(公募にあたり提案した内容)
青山 一	幸区自主防災連絡協議会
荒井 康男	幸区医師会
大久保芳城	幸区PTA協議会
小林 豊	川崎市幸区社会福祉協議会
末兼 卓	公募(地震災害施策の推進)
綱川 幸子	幸区老人クラブ連合会
手塚 善雄	幸区文化協会
萩原 保夫	幸区民生委員児童委員協議会
葉山 直次	幸区保護司会
安岡 信一	川崎市幸区交通安全対策協議会

専門部会B：子育て・環境・魅力づくり部会

委員名	推薦団体もしくは公募(公募にあたり提案した内容)
今井 淑子	さいわい市民活動懇談会
小保方健次	幸区子ども会連合会
小島 春男	幸区町内会連合会
酒井 道子	公募(子育て世代に優しいまちづくり)
庄司 佳子	さいわいリバーウォッチング実行委員会
菅野 勝之	幸区まちづくり推進委員会
成田 信子	公募(子どもの安全についての課題解決)
根本 健	公募(緑化推進)
深瀬 和則	日吉商店街連合会
松世 三重子	夢コンサート実行委員会

審議結果

検討事項

- (1) 企画運営部会からの報告及び幸区区民会議運営要領について
- (2) テーマ別審議について
 - A 安全・安心・すこやか部会「地域防災活動の推進について」
 - I 子育て・環境・魅力づくり部会「魅力づくりと市民活動の推進について」
- (3) 区民会議に関する区民アンケート(全戸配布)の実施について
- (4) 第3回幸区区民会議について

報告事項

- (1) 協働推進事業について

専門部会での検討結果

安全・安心・すこやか部会

テーマ 「地域防災活動の推進」

(地域での取り組みのキャッチフレーズ)

～避難所の運営訓練から広げよう、助け合う地域のちから～

避難所運営を行い、地域の関係団体が役割を分担して、より実践的に取り組みます。
非難時に援護の必要な人への対応策を検討していきます。



市総合防災訓練の様子

避難所運営訓練を実施しましょう

避難所運営組織を立ち上げ、関係団体の役割分担を行います。取り組みを区内(22箇所)の避難所へ広げます。

要援護者の避難訓練を行いましょう

要援護者(避難時に介助を要する人など)の参加による避難訓練を行います。

【部会での委員意見】

避難所の役割として、まず災害弱者や災害で怪我をした人を助けることが急務だ。

各自の取り組みとしては、震災後72時間は避難所へ行かず、自宅待機できる備えをすることが必要。

年に3回の防災訓練、各町会単位による小規模な防災訓練を実施しているが、災害発生時に具体的な行動を取れるようにするのが課題だ。

区民会議では、災害が発生したときの細かい対策の議論ではなく、地域の取組みを推進するための提案を行うことが重要。

避難所を立ち上げることから、現実に即した問題が明らかとなる。

避難所運営会議を立ち上げて、統括者を選んでいくこと、各組織の役割分担が必要だ。

医師会でも災害時の組織を構築しているが、避難所と連携した体制など、地元と手をつなぐ関係づくりが必要だ。

医師は、自分の診療所を確保して、避難所は応急措置の場とすることがよい。

民生委員・児童委員協議会では「災害時に一人も見逃さない運動」に取り組んでいるが、他組織とのネットワークが必要。また、一人暮らしの高齢者などの日常生活を把握してこそ助けられる。

防災も、日ごろからの近所のつき合い、地域の活動をいかに活性化するかが重要。



テーマ「魅力づくりと市民活動の推進」

(地域での取り組みのキャッチフレーズ)

～知ってもらおう！ 地域の生活を豊かにする活動

一つひとつがつながることで広がる魅力～

地域の生活を豊かにする市民の活動を、モデル地区を設けて、多くの人に見て、知ってもらいましょう。地域の財産を大事に思う気持ちなど目的を共有しながら、活動がつながることで、知ってもらえる機会、新たな参加の場、やりがいなど、取り組みや地域の魅力を広めていきます。



矢上川でのさいわいりバーウォッチング

日吉の地域資源(加瀬山、夢見ヶ崎動物公園、矢上川など)を活かした取り組みを応援します

活動の拠点の活性化、市民の活動に関する情報提供を行いましょ

健康づくり、子育てなどの取り組みと音楽活動との連携を進めます

区役所ロビーなどの他にも、身近な場所出張コンサートを行います

【部会での委員意見】

活動団体が情報交換や交流により相互の活動を理解すると共に、連携・協力しあうことが大切。

活動団体が連携し、歴史・自然等の地域資源を共有化していく必要がある。地域活動への参加が期待される団塊の世代や、若い世代等に対し、活動に入りやすく、わかりやすい情報提供が必要。

情報化、高齢化が急速に進む中、高齢者がパソコンを役立てる方法を指導するしくみや、場の形成が期待される。シニア人材とITの活用による地域(団地)活性化を提案したい。

「市民活動」の範囲等を明確化して検討することは必要だが、サークル活動等も「市民活動」に発展することを認識しておくことが重要。

ネットワークには、地域の財産を大事に思う気持ちなど目標の共有化が必要。区内のプロ音楽家のネットワークをつくりたいが、紹介するための基準や方法、プライバシーの問題等への対処が不明確であり、改善が必要。

推進モデルをつくる。地域の動きとして

日吉、河原町があるので、すでに進んでいるところで、みんなが協力して行う。

特色ある音楽会として、子育てや健康づくりの講演会と一緒にやるのもよい。

やることは大変だが、やらなくてはいいことはないことはやってみて判断するのがよい。



専門部会次回開催のお知らせ

各専門部会の次回の開催は次のとおりです。(傍聴できます当日先着10名)

安全・安心・すこやか部会

開催日時 11月27日(月) 18:30～

場 所 幸区役所第2会議室

内 容 第2回区民会議の結果にもとづく検討、次のテーマの進め方
次のテーマ「健康で生きがいをもてる地域づくり」に関する委員の提案

・少子高齢化対策(手塚委員)

出生率が低下して、こどもが少なくなっている。高齢者、孤独老人などに様々な事故が発生しており、近隣での見守りネットワークが必要。

・高齢者の生きがいづくりと健康づくり(綱川委員)

老人クラブによる活動成果を地域に還元し、家族・高齢者自身が生き甲斐を見つけることが重要。介護予防(健康寿命を伸ばす)においても最良である。

・市民健康づくり(介護予防など)(小林委員)

介護予防、医療制度改革の周知不足など、高齢者は不安を感じている。重要性を市民に訴え、健康づくりを進める。

・医療関係機関の連携による地域での健康づくり(荒井委員)

医師、歯科医師、薬剤師と一緒に医療・健康アドバイスをするような取り組みを行う。

子育て・環境・魅力づくり部会

開催日時 11月22日(水) 18:30～

場 所 幸区役所第1会議室

内 容 第2回区民会議の結果にもとづく検討、次のテーマの進め方
次のテーマ「安心して子育てできる環境づくり」に関する委員の提案概要

・子育てしやすいまちづくり(酒井委員)

商店街の歩道など、ベビーカーでの歩行がしにくい状況にある。親子で安心して楽しめる場の確保(公園整備などが必要)。

・読み聞かせ活動の推進(成田委員)

図書館で行われている読み聞かせ活動の拡大。
読み聞かせ団体の横のつながりや活動の周知。



区民アンケートを実施します

区民のみなさんから区民会議についてのご意見を募るため、12月にアンケートを実施する予定です。ご自宅に届くアンケート用紙に記入していただくか、ホームページのアンケートフォームからお答えください。

アンケート実施の詳細は、市政だより幸区版12月1日号、区のホームページ等でお知らせします。

ご協力をお願いします。

* 幸区ホームページにも区民会議の情報を掲載しています
<http://www.city.kawasaki.jp/63/63saiwai/home/index.html>